

4(3) 文教懇、各課懇

文教施策懇談会について私からご報告いたします。

従前からお伝えしておりましたとおり、今年度は道小が主担当となり道教委との協議をすすめて参りましたが、道の教育長が6月1日に新しく着任することと、本格的な協議はそれ以降ということになりました。そのため、皆様へのご依頼、ご連絡が大変遅くなり申し訳ございませんでした。

さて、文教施策懇談会は今年度より意見交換会と名称変更し、道教委が主催となって行われました。道教委から、「テーマを絞って行いたい、学校のぎくばらんな状況を伝えてほしい」とのことから、テーマが GIGA スクールとなり、石川教育指導監様の進行により会がすすめられました。

まず現状や課題ということで指名を受けた、留萌地区の石田校長先生から校長会の取組と教職員の意識、渡島地区の三浦校長先生から校内研究と教職員へのはたらきかけ、道中釧路市地区から伊藤校長先生から地教委との連携、小樽地区の銭谷校長先生オンライン授業についてなど、各地の状況を発表していただきました。その後、へき複連の小野田校長先生からへき地での現状、道特協の猪股校長先生より特別支援教育での活用の状況を発表いただきました。さらに指名のあった、帯広地区の早川校長先生から校内体制について、山村から校内での教職員研修について発表しました。

その後、3つの会の会長から発表がありました。道小の吉田会長からは個別最適な学び、協働的な学びの最重要ツールとして一人一台端末があるという意識の変革をして令和の日本型教育へとシフトチェンジすることの重要性が語られ、道教委へはすべての子どもの学ぶ環境の整備と ICT ポータルサイトの充実を要望しました。道中の三浦会長は、新しい当たり前を受け入れる必要性と GIGA スクール構想もその一つであることが話され、教員の指導スキルリテラシーの向上が要望されました。道公教の山口会長からは校内組織体制の整備と人材活用について話されました。

道教委からは指導担当局長、ICT 教育推進局長、総務政策局長、道研所長、教育長より今後も情報交換をして GIGA スクールをさらに推進できるようお話がありました。

その後の各課懇談会につきましては道小道中が主催で今年度は道小が主担当でした。懇談のテーマにつきましては、6月に開催された道小の全道会長研修会での話題をさらに深めるという意図もあり、「コロナ」「働き方改革」「GIGA スクール」の3つとしました。また昨年は各課懇談会が行われなかったので一昨年のものをもとにしながら、進行については提言ごとに区切らず2つの提言を続けて行うなど、新たな試みも取り入れて行いました。それぞれの様子につきましては、その場に参加いただきました3名の副会長様より順にご報告いただきます。

来年度は道中が主担当となりますが、反省と申し送りとしてまとめたものをデータ番号 05 文教施策要望活動等の1ページ目にのせましたので後ほどご覧ください。それでは副会長様よろしくお願いたします。